

特定非営利活動法人(NPO法人) (通称: AAC21)

21世紀のカンボジアを支援する会

ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL 03-3991-2854 FAX 03-3557-1213
E-mail: info@aac21.net

【カンボジア事務所】 Phom Thmey, Sangkat Rokathom, Krong Chbamon, Komponspeu.
Kingdom of Cambodia
電話 (855) 12-737-559 (855) 12-946-483

【ホームページ】 AAC21

【公式ブログ】

会報

幸福を、平和を、豊かな心を、 カンボジアの友と分かち合おう



アンコールワット

発行日 2013年(平成25年)3月1日

第69号

(年6回発行) (奇数月)

二本松ロータリークラブがカンボジア訪問

一月十四日(十八日、福島県の「二本松ロータリークラブ」のメンバー五人がカンボジアを訪問、小学校に井戸を一基寄贈したほか、訪問した四つの小・中学校など



訪問した二本松ロータリークラブほかの皆様

に学用品購入などに使ってもらおうと、寄付金を持参した。また、日本から持参したボールペンを生徒たちに配布したり、三つの小学校へ現地で購入したカセットテープレコーダを寄贈した。



きれいな井戸水を飲む子どもたち

また一行は、一緒に同行した桑原淑子さん(二本松市・里親会員)のピアノによる音楽指導を見学、日帰りアンコールワット観光も楽しんだ。
東日本大震災の被災地でもある福島県二本松市からのカンボジア訪問の意義は深く、訪問した皆さんから、震災や原発被害の様子がカンボジアの子どもたちに語られた。
二本松ロータリークラブの高橋会長は井戸贈呈式の中で「私たちも負けずに頑張っているのだから皆さんも頑張ってください」とあいさつした。

子どもたちの製品がシェムリアップの雑貨店に陳列

本会がカンボジアのコンボンスプー県で運営する児童養護施設「夢ホーム」にアクセサリー製作技術を学ぶ、「夢工房」ができ、5月で丸2年が経過する。工房を主宰する榎戸徹彦さん(横浜市・里親会員)は、隔月に技術修得のため講習会を開いているが、約2年間で講習会の数が10回に達した。技術を学ぶ生徒たちは夢ホームや地域の村で暮らす子どもたち。講習会の成果が徐々にあらわれ、アンコールワットで有名なシェムリアップにあるカンボジア雑貨店「クマエ・ユーン」にて、製品として販売するまでに腕前が向上した。店に展示したのは2種類のペンダント、大きいものが58ドル、小さいものが48ドルで販売、本物の銀製品なので結構売れているという。売れた代金の一部が製作した子どもたちのお小遣いや工房の運営費に充当される。将来、子どもたちの自立に結びつく職業訓練として注目される。



お店に飾られた子どもたちが作ったペンダント



クマエ・ユーンを運営する高橋さん(左は訪問した根岸理事長)

途上国で活動する意義は?

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

アルジェリアで起きた人質事件で、日揮の社員ら、現地の日本人十七人のうち十人が命を落としました。熱砂のガス田開発を通して国際貢献していた企業戦士にとって、あまりにもむごい仕打ちに強い憤りを感じた。

アルジェリアは、日本人の努力により独立を果たしたと言っても過言ではないほど、我々の先輩たちが多くに滞在し中政党内の争いが激化、カンボジア全土で戦闘が始まった。外国人に外出禁止令が出され、約一週間、プノンペン市内のホテルに身をひそめていたが、日本大使館の尽力で何とか帰国することができた。

ホテルには大勢の外国人が身を寄せた。日本人は幾人もいながら、ホテルの外では砲弾が飛び交い、流れ弾でガラスが割れたり、ホテルの近くで現地のカメラマンが射殺されたりして、とても怖い経験をしたことがある。幸い、その後カンボジアは平和になり今日を迎えているが、最近では交通事故や引ったくりの恐怖におびえている日々だ。

カンボジアでは、道路が未整備のまま、車ばかりが急激に増え、交通

の貢献をし、日本の株を押し上げてきたが、武器を持たない日本人にとって、安全が担保されない限り、今後の活動に二の足を踏まざるを得ないところだ。

カンボジアがまだ内戦をしていた一九九七年、当時、ある国際NGOの事務局長をしていた私だが、活動のためカンボジアの首都プノンペン

に滞在し中政党内の争いが激化、カンボジア全土で戦闘が始まった。外国人に外出禁止令が出され、約一週間、プノンペン市内のホテルに身をひそめていたが、日本大使館の尽力で何とか帰国することができた。

ホテルには大勢の外国人が身を寄せた。日本人は幾人もいながら、ホテルの外では砲弾が飛び交い、流れ弾でガラスが割れたり、ホテルの近くで現地のカメラマンが射殺されたりして、とても怖い経験をしたことがある。幸い、その後カンボジアは平和になり今日を迎えているが、最近では交通事故や引ったくりの恐怖におびえている日々だ。



かめに溜めた雨水を飲む農村の子

盗難にまつわる事件も起きている。バイクタクシーの後ろに乗っていた旅行中のフランス人女性がひったくりに遭い、バイクから振り落とされ命を落とした。外国人はいつも狙われている。

二〇〇〇人を上回ったという。盗難にまつわる事件も起きている。バイクタクシーの後ろに乗っていた旅行中のフランス人女性がひったくりに遭い、バイクから振り落とされ命を落とした。外国人はいつも狙われている。

とにもかくにも、外国、特に途上国での暮らしは常に注意が必要だ。長生きしようとは思わないが、無意味な死に方は避けたい。

一月も、カンボジアの小学校に井戸を三基贈呈した。日本人の善意が水の少ない地域のオアシスとなり、命をつないでいる。

今日、明日の飲み水がない、食べ物がない人たちが、貧しいため学校に行くことができない子どもたち、多少は豊かになった私たちが支援の手を差し伸べることが、今、なににより求められている。しかし、その気があっても何をしたいのかわからない方のため、私たちのようなNGO団体が架け橋となり、その気持ちを伝える。

国力が衰退傾向にある昨今、やや自信を失いかけている日本人だが、外国にいて思うことは、日本人は世界でもっとも素晴らしい民族だという実感だ。元気を出そう!!

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



小学校で勉強する里子

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、大多数の人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば68年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子ども達を支援する番です。 ※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月2500円×12ヵ月)のどちらも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の用途】: 学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金などに使われます。このほか、現地スタッフの給料、ガソリン代、事務所家賃など現地でかかる経費、通信費、印刷費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。

【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。現地で暮らす里子に会いに行くための旅行も年3回実施しております。

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、公的資金(税金)は一切いただいておりません。



訓練の様子

第十回「鑄造によるアクセサリー作り技術講習会（夢ホーム）」

日本宝飾クラフト学院（本校）東京都台東区）の専任講師で、自宅にも工房を持つ榎戸徹彦さん（横浜市・里親会員）が夢ホーム内に「夢工房」を作り、子どもたちへの職業訓練として、鑄造によるアクセサリー制作の技術指導をしている。

一月九日、十日、十一日、第十二日、第十回の技術講習会が行なわれ、夢ホームや村に住む子どもたち（六人）が参加した。

講習会は、一昨年の五月にスタートし今回が十回目となった。技術を学ぶ子どもたちの習熟度にも格差がで、それぞれに合った訓練を実施している。

次回の講習会は、三月二十六日（二十九日）を予定している。



訓練指導する鈴木千雄さん

一月九日、十一日、板金加工技術修得のための職業訓練プロジェクト「もの作り技術講習会」（第十五回）が児童養護施設「夢ホーム」にある職業訓練棟で開催、夢ホームで暮らす子どもたちや近所の子どものうち（八人）が参加した。鈴木千雄さん（愛知県あま市・里親会員）が技術指導した。

今回は、前回の続きで化粧箱と洗面器を製作し、立派な製品が完成した。

次回（第十六回）の講習会は、三月十三日（十五日）を予定している。

1月はカンボジアの小学校に3つの井戸が完成



佐野和俊さんが小学校に寄贈した井戸

1月15日、二本松ロータリークラブの皆さんが出席し、コンボンブー県内の小学校で井戸の贈呈式が行なわれた。（1面に掲載）

また1月18日、佐野和俊さん（愛知県安城市・会員）が資金提供し、コンボンチャム県内の小学校で井戸の贈呈式が行なわれた。佐野さんは子どものころ水に苦労した思いがあり、一昨年カンボジアを訪問した際に水不足に悩むカンボジアの実情に心を痛め、この程の井戸贈呈につながった。

1月14日には、夢ホームに近い小学校で、匿名の方による井戸の贈呈式があった。

1月に完成した井戸の内訳

ネームプレートに記された名前など	学校名	生徒数	学校の所在地
① 二本松ロータリークラブ様	プレイベン小学校	614人	コンボンブー県ウドン郡
② カンボジアの君たちが大好きな日本人より	ラスメイサキ小学校	537人	コンボンブー県ウドン郡
③ 佐野和俊様	パーティー小学校	631人	コンボンチャム県パーティー郡

※通算の井戸設置数（2003年～）＝221基（1月現在）

児童養護施設《夢ホーム》日記

二本松ロータリークラブの皆さんが訪問



二本松ロータリークラブの皆さんと

1月16日、二本松ロータリークラブの皆さんら5人が訪問、子どもたちと交流し昼食をとりました。子どもたちの育成資金にと寄付金をいただいた。子どもたちはカンボジアの歌を歌い、歓迎した。

お米いただきました



お米を寄贈してくれた桑原さん、青木さんとお米を寄贈していただいた。

1月16日、二本松ロータリークラブの皆さんと一緒に見えた桑原淑子さんと青木孝子さんから、お米（2袋）をいただきました。

*児童養護施設《夢ホーム》は両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活の場として、会員の皆様のご厚意により、2009年1月に建物が完成、同年3月に開園しました。現在、5歳から15歳までの17人の子どもたちが入園、近所の小・中学校へ通学しています。

スタッフが5人に増える



よろしくお願いします

カンボジア政府（福祉省）から指導があり、政府が認証する養護施設になるため、この程スタッフを2人増員した。新規に園長と男性保育を採用、今年から5人の体制で子どもたちをケアすることになった。

（写真：左から園長のソン・チャム、男性保育のニェム・サムアット、女性保育のキー・スレイネット、料理人のサーウ・サレット、警備員のクオン・ドック）

ベンチセットをいただきました



立派なベンチセットをありがとうございました

夢ホームの庭には大きな木がたくさんあるが、ベンチがひとつしかなくて不便を感じていた。この程、神奈川県藤沢市の米倉貴美子さんがベンチセットを寄贈してくれた。子どもたちはここで勉強したり仲間と雑談している。



和服姿でピアノを指導する桑原さん

一月十四日（二十四日）、桑原淑子さん（福島県二本松市・里親会員）がカンボジアを訪問、小学校と中学校でピアノの音楽指導を行なった。友人の青木孝子さんが音楽指導のお手伝いをしてくれた。

一月十四日の午後、昨年音楽指導した「チャイチョップ中学校」を訪問、十人の生徒を対象に行なった。十六日と十七日は昨年、桑原さんらが井戸を寄贈した「トロピアンクレン小学校」にて、生徒二十人を対象に行なった。

初めて指導した「トロピアンクレン小学校」は初歩からの教授だったが、何とかメロディーを吹けるまでに上達した。三月には、宮川公子さん（宮城県石巻市・里親会員）が同校を訪問し、音楽指導を継続することになった。

ピアノは、桑原さんが持参した物と、宮川公子さんが寄贈した物を使った。

桑原さんがピアノによる音楽指導



が増えたと。この子たちは多分学校に行っていないだろう。（写真提供：鈴木千雄様）

カンボジアの通勤手段

カンボジアには電車やバスといった公共の乗り物がないため、通勤にはほとんどの人たちが車を利用していている。車といえば聞こえがいいが、数十人の労働者が狭いトラックの荷台に押し込まれ、自宅から工場まで往復するのが普通だ。月給は平均で八千円前後という。（写真提供：鈴木千雄様）



プロンペンなどの都会で、空缶やペットボトルなどを拾い、生活資金にしている子どもたちをよよく見かける。最近では、ゴミ処理場での収集がでなくなってきたため、街のなかで収集する子どもたちが増えている。

農村の小学校を訪問したとき、教室に歯ブラシの入ったケースを見かけた。欧米NGOの指導によるものらしい。都会ではそうでもないが、農村ではまだ歯磨きの習慣がないようだ。

「たにし」を売る少女

カンボジアでは「たにし」を売っている子どもをよく見かける。コップ一杯で十円程度と安く、おやつ代わりに食べるそうだ。

歯磨きの習慣をつけよう

農村の小学校を訪問したとき、教室に歯ブラシの入ったケースを見かけた。欧米NGOの指導によるものらしい。都会ではそうでもないが、農村ではまだ歯磨きの習慣がないようだ。

今年へび年だが、カンボジアの建物の屋根にはへびが乗っている。縁起物として珍重されているようだ。

カンボジアでも蛇は縁起がよい

今年へび年だが、カンボジアの建物の屋根にはへびが乗っている。縁起物として珍重されているようだ。

カンボジアではガソリンスタンドのほか、バイク用ビンに入ったガソリンを販売している。外国人がジュースのビンと見間違えることがあるという。ガソリンスタンドより安価だが、純度に保証がない。

「たくましい椰子の木」

落雷に遭い一旦は死滅したようだが、その後芽を吹き、曲がりながらもたくましく育つ椰子の木を発見した。「何事にもくじけないうで頑張りなう」という、人間への励ましのメッセージのようなものだ。

規制のないガソリン販売

カンボジアではガソリンスタンドのほか、バイク用ビンに入ったガソリンを販売している。外国人がジュースのビンと見間違えることがあるという。ガソリンスタンドより安価だが、純度に保証がない。

「たくましい椰子の木」

落雷に遭い一旦は死滅したようだが、その後芽を吹き、曲がりながらもたくましく育つ椰子の木を発見した。「何事にもくじけないうで頑張りなう」という、人間への励ましのメッセージのようなものだ。



写真をもらい喜ぶ生徒たち

遠藤啓さんが集合写真を生徒全員に寄贈

昨年十一月、アマチュア写真家の遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市・会員)がカンボジアで三つの小学校を訪問し、生徒たちの集合写真を撮ったが、生徒たち全員に行き渡るようにと、その写真を日本にプリントした。

一月十七日、十八日、その写真を持って根岸理事長が三つの小学校を訪問、生徒たち全員にその写真を手渡した。日本なら集合写真は機会ある毎に撮るが、カンボジアの子どもたちはその機会に恵まれていない。

写真をもらった子どもたちは、一生の記念になることだろう。

里子家庭訪問記録

名前: チョップ・スレイオン	学校名: アンミンチェイ小学校	
年齢: 11歳	学年: 小学校の6年生	性別: 女の子
住んでいる場所: コンボンスプー県コンセイ郡 ヴィルコミュン プライサバウ村		
学校までの所要時間: 徒歩で20分		
好きな教科: 国語(特に、絵本を読むのが好きです)		
苦手な教科: 算数(特に割り算を解くのが苦手です)		
担任から一言: 成績: B 道徳: A 健康: C 学校活動: B 出席: B		
家庭状況: 現在、お母さんと祖母と暮らしています。お父さんは再婚しています。兄弟はいません。		



80歳のおばあさんの写真です。

一日の過ごし方: チョップ・スレイオンちゃんは毎朝6時頃起きます。家の清掃をしたり、食器を洗ったりします。それから、水浴び、朝食を摂り、午前7時から学校へ通います。昼食を摂ってから、ちょっと昼寝をします。それから、夕方まで牛の世話に行きます。毎夜、晩ご飯を食べてから、本を読み、先生から出された宿題をします。8時頃寝ます。

好きな遊び: 縄跳びをするのが好きです。

好きな食べ物: ロンガン、パイナップル、牛乳

将来の夢: 医者になりたいです。

備考: チョップ・スレイオンちゃんのおばあさんはだんだん力が弱くなりました。目もあまり見えません。毎日、スレイオンちゃんが、面倒見えています。お母さんは毎日縫製工場に働いて夜遅くに帰ります。スレイオンちゃんは学校から帰ると、おばあさんに昼食を準備したり、小さいめいめに、おかゆを食べさせたりしています。「スレイオンちゃんは毎日、私の服を洗濯したり、水を運んだり、ご飯も炊いたりしています。まだ、若いですが、いろいろな仕事を手伝います。昼間、よく私に話を聞いて聞かれます」とおばあさんは言いました。

2012年12月21日
担当者: ニョウ・ピン



訪問した皆さんと村の人たち

クメール教育里親基金活動レポート

本会では、病气や事故、親の離婚等により両親や片親を失い、経済的に貧しい環境にあるカンボジアの子どもたちが学校へ行くことができるよう二〇〇三年に「クメール教育里親基金」を創設、一月末現在三百五十人の子どもたちを教育支援している。

一月十六日、カンボジアを訪問中の二本松ロータリークラブの皆さんが、同行した桑原淑子さん(二本松市・里親会員)が教育支援する里子の家を訪ねた。珍しい外国人の訪問に、いつものことながら近所の子どもたちが集まってしまい、持ちあわせのお菓子などを子どもたちに配った。

桑原さんの里子の母親は、タイ国境の近くにトマト畑の労働者として出稼ぎにいたり、月平均百ドルくらいの収入というところだが、諸経費を差し引くと手元にはいくらか残らないという。こうした厳しい環境の中でも、明るく生きているカンボジアの皆さんを応援するともに、私たちが励まされ、ホテルに戻った。

「認知症」の被告を釈放

ルポト政権のイエン・サリ元副首相の妻で、社会問題を務めたイエン・チリト被告(80)が、拘留されていたカンボジア特別法廷から釈放された。特別法廷が同被告について「認知症であり、今後も改善の見通しがなく、裁判を受けられる状態でない」と判断したためだ。

カンボジアの輸出は増えている

カンボジアのコメ輸出業者によると、昨年一月から九月までのコメの輸出は、少ないながらも確実に増えているという。カンボジア・コメ輸出業者連盟の会長は「第一半期にいくつものコメ業者が今年も大規模な水害があると見込んで、コメをストックして輸出を見合わせたことが総量に響いている」と話す。

ある業者によると、ヨーロッパへの輸出は減ったが、アメリカやマレーシア、シンガポールなどの新しい市場が確保できているという。カンボジアのコメの輸出量は前年同期比一割増の十二万五千四百トン、輸出額は十九割増の八千四百六十万ドルだった。

カンボジアの車両の輸入、二〇〇%超の伸び

業省によると、昨年一月から九月までのカンボジアへの車両輸入台数は百五十八万台、金額にして三億七千二百万ドルに上ったという。前年比で、台数にして二〇六%増、金額にして三九%増となる。専門家によると、この伸び率は市場の需要とカンボジアの経済成長に合ったものであるという。

一方、この数ヶ月でカンボジアでは、イタリアやオーストラリアからバイクメーカーの参入があり、これまで市場の大部分を占めていた日本製バイクとの競争激化が予想される。



工事中のイオンモール

イオンモール、準備が進む

イオン・チリト被告は、特別法廷で現在、審理が続いている「第二ケース」で起訴された四人の被告のうちの一人。特別法廷は、同被告の病状が悪化したことを受け、「訴訟能力」について審理を重ねてきた。

イオン・チリト被告の弁護団によると同被告の病状は、弁護をするに当たり必要な、本人の意思確認が極めて難しく、指示も与えられない状態だったという。

プノンペン・イオンモール、準備が進む

プノンペンに本格的なショッピングモール誕生と期待が高まっている。プノンペンには、パークウェイを老舗にソリアデパート、ソヴァンナなどのショッピングセンター、といったものがあるが、ひとつが流行れば他が落ち込み、またその品揃えは一部を除けば市場と変わらず、テナント料の高さから同じものが市場より割高といったもので「買う客より見るだけ」状態が続いている。見た目の街の変化の割にはその内実はそれほど大きく変わっていないだろう。

また、商品の質も「安かろう、悪かろう」という域をでていない。日本並みの「買って行くか、と迷ってしまう在住者も多い。また、ショッピングモールもどきの建築群を市内外郭に見るが、これもシャッター通りと化している姿をよく見る。こうした中、イオンモールが二〇一四年オープンする。

カンボジアのニュース

現地が発行している新聞や情報誌から、カンボジアに関するニュースを紹介いたします。

田七使用体験談

【好きな旅行も一瞬にして・・・】

神奈川県在住 74歳 男性 三水(さみず)様

最近疲労感がありましたが無理して旅行に出かけ、団体ツアー帰国後の朝、寝起きにバットで殴られたような衝撃を受け倒れ、寝床から起き上がることが出来なくなり、3週間半入院しました。入院中に知人より中国で古来から健康維持のため食されている田七が体に優しく良いからとすすめられ田七を飲み続けました。2ヶ月経った頃から、明らかに体調の変化を実感できるようになり体調も入院する前の健康であった状態に戻り、好きな旅行にも再び行けるようになりました。田七を飲み続けたおかげだと感謝しつつ、あらためて若い頃から自信があった体力、健康には気をつけるようにしております。

※この体験談は個人の感想であり、製品の機能を説明するものではありません。

純粋田七100g入り瓶

¥9,000

※送料: 全国一律 500円(離島除く) ※2瓶以上は送料無料

【主成分配合量】製品100g中 田七人参: 100g(内サポニン8.8g) 財団法人日本食品分析センターによる分析結果
【お召し上がり方】目安として1日2回、朝晩に添付スプーン半杯(1g程度)を水又は白湯でお召し上がりください。

もう一度イキイキと好きなことをやりたい! 歳だからとあきらめないで 「純粋田七」試してみませんか?

あなたは田七という名の植物をご存知でしょうか。

田七人参は、日本でよく知られている「高麗人参」など人参類の原種といわれ、中国雲南省のベトナム国境近くのごく限られた高地にしか分布していない人参です。古来、中国では明の時代より体力維持・健康維持した生活が出来る食べ物として用いられています。収穫できるまでに3年以上の年月を要する貴重なものです。

純粋田七主成分にはサポニン、ビタミン類、鉄分、カルシウム、カリウムなど体力増強となる成分や、田七固有の成分、田七セクンA、田七セクンBなどが含まれており、健康維持、体力維持に役立ちます。

ご注文・お問い合わせは

042-659-2995

受付時間: 月曜～金曜 10:00～18:00

【輸入元】 日本産業投資技術促進株式会社
【販売者】 雲南省交流促進会
東京都八王子市東浅川町302-7

現地事務所を開設し、田七根仕入れから製品にするまでの全工程を管理・監督していますので品質には自信をもちます。日本においては、(財)日本食品分析センターにて田七粉末の成分分析および残留農薬検査を済ませていますので安心して服用いただけます。弊社は売上利益の一部を認定NPO法人日本雲南同郷協会を通じ、雲南省少数民族貧困児童への教育支援活動を応援しています。

※商品の性質上お取り替え、ご返品は原則としてお受けできませんので、予めご了承ください。

トゥッサナー・カンボジア



現地日本語情報紙より

プノンペンのおしゃれたち！

カンボジアの経済成長は二〇〇九年、二〇一〇年まで、八十三%の高成長である。二〇〇九年は〇%だった。このときはいわゆる、バブルがはじけた時だった。その後、六、七%の成長率。パソコンの普及率、携帯電話（iphone）は日本と同じスピードで普及、さらにインターネットカフェなどで世界の情勢を知る若者が増えた。

（兵庫県宝塚市・理事、中野 勝）



荒地になっている開発予定地（プノンペン市内 ボンコック湖）

にせの投資話にはくれぐれもご注意を

横行している、国民センターが注意喚起していると伝えた。その時の会社社長はすでに逮捕・起訴された。うだが、今度の事件は別な業者によるらしく、被害もより深刻な様相だ。

日本の個人金融資産が一五〇〇兆円あるといわれている。これを当てに、日本政府は毎年四十兆円もの新規国債を発行している。いまや、国と地方を合わせた一〇〇〇兆円を超える累積債務を抱えているのが、わが国のお寒い財布の中身だ。

活動に参加しませんか

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。

- 個人会員（年額一〇五〇円）
法人会員（年額一〇一〇万円）
里親会員（年額三万円）
... (more details about membership and activities)

紙の募金箱をお部屋に置いてください



本会では、夢ホーム始め現地活動を支えるため、紙の募金箱を作成して皆様にご支援をお願いしております。

投稿

私の戦争体験

佃井庸八

本会の副理事長、佃井庸八さんは御年九十一歳、年に三回実施される「カンボジアふれあいの旅」に参加する...

5

捕虜収容所の炊事場では、男女のインドネシア原住民を数人雇っていました。その内の一人の女性と深くお付き合いしました。

真珠のように輝く子供たちの瞳に出会ってみませんか？
「夢ホーム」で子ども達と楽しい交流・里子の家庭訪問・感動的な井戸の贈呈式・学用品配布・アンコールワット観光など
第24回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子ども達との交流をはかることができます。



「夢ホーム」の子ども達が皆さんをお待ちしています



学校訪問では井戸贈呈式に出席します

- 【旅行期間】平成25年7月3日（水）～9日（火）（5泊7日）
【募集定員】最少催行人員10名様（定員＝30名）
【滞在ホテル】ミッタピアホテル（プノンペン）5泊
【利用空港】成田空港および関西空港など
【旅行日程】3日＝成田空港・関西空港などから乗り継ぎにてカンボジアのプノンペン国際空港へ。
4日＝小学校を訪問、井戸贈呈式と学用品配布など
5日＝教育支援する里子の家を訪ね
6日＝自由行動（オプションでアンコールワット観光あり）
7日＝夢ホーム訪問、セントラルマーケットで買い物
8日＝プノンペン市内観光後、夜8時頃チェックアウト⇒プノンペン国際空港から帰国の途へ
9日＝早朝、成田・関西空港などに到着
【旅行代金】14万円～15万円を予定。
【締切日】平成25年5月20日（月）

お問い合わせ・申し込み
旅行企画☆特定非営利活動法人 21世紀のカンボジアを支援する会
〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203 TEL: 03-3991-2854
E-mail: info@aac21.net http://www.aac21.net FAX: 03-3557-1213

事務局便り
今年には本会がNPO法人になり、九十年が経過しました。NPO法人化十周年を記念し、四月二十日（土曜日）午後一時～五時「JICA地球ひろば」（東京都新宿区市谷本村町十の五）会議室において「活動報告会&懇親会」を開催いたします。